

高美小学校内 TM だより

R8.9.4.NO.15

2年2組の生活科の授業におじゃましました。

★おもちゃづくりにつながる学習★

授業のはじめには、前時に登場した簡単な車のおもちゃをふりかえることからスタートしました。「今日はみんなであそぼう」という吉村先生の声掛けで、子どもたちの意欲が一気に高まる様子が見られました。先生が車を押して走らせ「おすパワー」と定義づけ、本時のめあて「〇〇パワーをみつけよう」というめあてが示されました。興味をもちながら学習に向かう様子が見られました。

★試しながら見つける活動★

「おすパワー以外のパワーはあるかな？」と伝えられると、子どもたちは押す以外の方法でおもちゃを動かそうと考えていました。活動では、じしゃくや輪ゴム、クリップなど様々な材料が準備されており、「何を使ってもいい」という環境の中で、それぞれが試行錯誤しながら取り組んでいました。2人1組となり、活動中には、「これならどうかな」「もう一回やってみよう」と、繰り返し試しながらおもちゃの動きを確かめる姿が見られました。うまくいかなかったときには友だちと相談したり、材料を変えたりしながら、自分たちなりの方法を見つけようとしていました。

★見つけたことを整理し、伝え合う時間★

活動の後には、見つけた「〇〇パワー」についてワークシートにまとめる時間がありました。おもちゃをどのように動かしたのかを、言葉や絵、図を使って表現していました。その後の全体交流では、おもちゃを実際に動かしながら説明する姿も見られました。より詳しく伝えることができるよう、先生から質問を投げかける場面も見られました。発表を聞くことで、自分たちとは違う工夫や考え方にも触れ、それぞれの発見を広げている様子がうかがえました。交流後には、みんなで出し合ったパワーを確認する時間もありました。電気の力を使わなくても様々な工夫で車を動かすことができることを確かめながら、次回から始まるおもちゃづくりへの期待を膨らませている様子が見られました。

～まとめ～

授業の中では、「どんなパワーを使えばおもちゃを動かせるだろう」という問いをもとに、子どもたちが何度も試したり確かめたりする姿が見られました。材料を選び直したり、友だちと相談したりしながら活動を進める中で、一つの方法にとらわれずに考える様子もうかがえました。また、活動の後にはワークシートや交流を通して、自分たちの発見を整理したり、友だちの発見と比べたりする場面も見られました。試しながら見つけたことを言葉や図で表現し、互いに伝え合うことで学びを深めている様子が見られました。吉村先生、2年2組のみなさん、ありがとうございました。

